



勝浦市太極拳サークル

新規会員随時募集中

美心会だより

第2回熱中症

救命講習会開催

梅雨明けの猛暑日が続く24日、元興津中体育館で第2回熱中症救命講習会が開催された。これは新型コロナウイルス感染防止対策のため、受講生を10名に限定したためだ。



講師は、夷隅郡市広域市町村圏事務組合・勝浦消防署の麻生 勝消防士と塚本ひかる消防士。

体育館の気温

は、30°Cを超え「熱中症は嚴重警戒」の表示。



胸部圧迫の模範演示

熱中症について一通り説明を受けた後、人形を使用して実技の模範演示。意識のない人が倒れているという想定で、「心肺蘇生法とAEDの使い方」について詳しい指導を受けた。人が倒れていた場合、①周囲の確認 ②助けを呼ぶ（駆けつけた人に、救急車の連絡・AEDの持参） ③呼吸の確認 ④胸骨圧迫開始（両手を組み、肘を曲げずに体重をかける。深さは5cmほどで1セット30回）その後、AEDが届いたらAEDを使うこと。

AEDのパットを貼る場合、体が濡れていないことを確認すること。濡れている場合、タオルで水分を拭き取ることやペースメーカー対策など。



江澤（和）さんは胸骨圧迫に挑戦



ひととおり模範演示が終了し、質問の時間が設けられた。

*ピップエレキバンがあった場合、全身を取り

体育館玄関のAED

り除くのか？胸部付近だけで良いのか？

*ピップエレキバンを取らないでAEDを使用した場合どうなるのか？

*胸骨圧迫で大人と子どもでは強さが異なるのでは？

*普通の呼吸ではない呼吸とはどんな呼吸か？
活発な質問が次々とよせられ終了予定時間を15分もオーバーするほど熱心だった。

